

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年8月2日時点)

➤ **露軍が各正面で攻勢を強め、ウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続する一方、ウクライナ軍は火砲や砲弾、防空ミサイルなどの不足に直面する中で防御戦闘を継続**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT23年8月18日)

: 死者約18万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

: 死傷者50万人以上 (英国防省24年5月31日)

「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT23年8月18日)

: 死者3.1万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,500人以上 (UN23年12月4日)

- 露国防省は、7月27日にドネツク州 **ロズヴァツケ村**、28日にドネツク州 **プロフレス村** 及び **イエフヘニウカ村**、29日に **ヴォヴチェ村**、30日にドネツク州 **ピヴデンネ村** を解放したと発表
- ゼレンスキー大統領は、**ドネツク方面が極めて困難な状況**にあり、ここ数週間、露軍の攻撃が最も多いのは **ポクロウスク方面** であると発言 (7月28日)

- 「ウ」メディアは、「ウ」軍情報総局によれば、露が **毎月50発のKh-101巡航ミサイルを生産**しており、現在、**160発の同ミサイルを保有**していると報道 (7月25日)
- ゼレンスキー大統領は、戦争終結には **軍を強化して戦い続ける忍耐**と米国を中心とした **軍事支援**、各国が連携して露に対して行う **外交的圧力** という要素が欠かせないと述べた上で、**11月末までに戦争終結に向けた計画**を作成する方針を明示 (7月26日)
- 米政府は、**HIMARS用弾薬等の2億ドル相当 (在庫から拠出)** 及び **15億ドル相当 (新規調達)** の支援を発表 (7月29日)
- ゼレンスキー大統領は、**ハルキウ州の防空システム強化に着手**しているとしたほか、西側の防空システムは、ミサイルの飛来がより激しい地域に優先的に分配される旨発言 (7月29日)
- 「ウ」戦略産業省次官は、「ウ」には、**1年間に300万機以上の様々なタイプの無人機を生産可能**であるが、そのためには、パートナーからの支援を含め、**融資が必要**であると発言 (7月30日)
- 米メディアは、少数であるも、NATO諸国から **最初のF-16戦闘機が「ウ」に到着**と発表 (7月31日)

- 「ウ」軍情報総局は、7月21日に **モスクワ郊外のトリミノ** で **Mi-28** 及び **Ka-226**、24日に **サマラ市クリャジ飛行場** で **Mi-8** をそれぞれ攻撃したと発表 (7月27日)
- 「ウ」軍情報総局は、「ウ」軍ミサイル部隊が **クリミア半島サキ飛行場** を攻撃と発表。また、「ウ」メディアは、「ウ」軍情報総局が **無人機** により、サラトフ州 **エンゲルス軍事飛行場**、リャザン州 **ジャギレヴォ軍事飛行場** 及び製油所、さらに **ムルマンスク州オレニヤ軍事飛行場** を攻撃したと報道。「ウ」軍情報総局報道官は、**オレニヤ飛行場のTu-22M3×2機に損害を与えた**旨表明 (7月26日、27日、30日)
- 露国防省は、露「ウ」国境付近の **クルクス州** で19機、**ベルゴロド州** で9機、**ブリャンスク州** で5機、**ヴォロネジ州** で3機、さらに **露北西部レニングラード州** でも3機の「ウ」無人機を撃墜と発表 (7月29日)
- 「ウ」空軍は、露軍が、**Shahed-131/136無人機×89機** で「ウ」を攻撃したが、**全て撃墜**と発表。「ウ」空軍司令官は、**無人機の最多撃墜記録を更新**したと表明 (過去最多は、24年1月1日の90機中87機撃墜) (7月31日)

- 主要都市 (下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点 (接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域

国土院標準地図を加工



資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等